

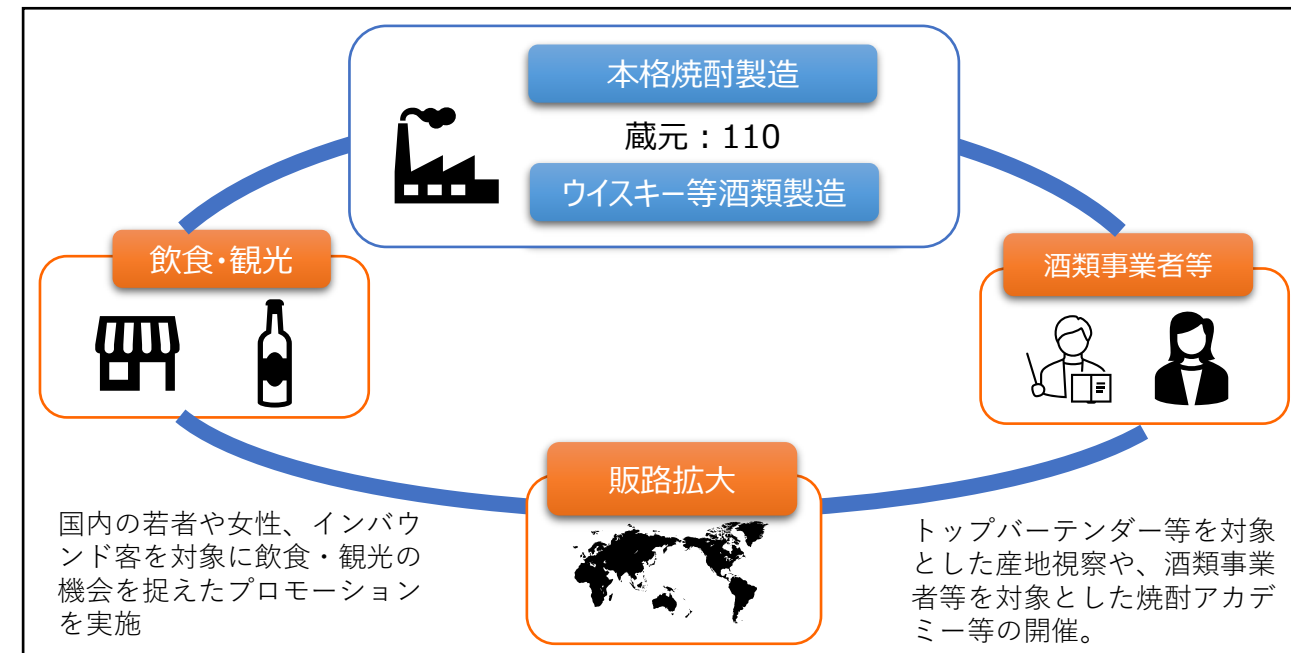
1. 支援する分野

本格焼酎等

2. 支援する地域及び核となる事業者

地域：鹿児島県全域

事業者：鹿児島県酒造組合（本格焼酎）



3. 目指す姿（目標）

（1）現状の整理

- ・国内最多である県内110の蔵元で多様な焼酎が製造されている。
- ・ウイスキーの免許場数が県内13場で国内有数のウイスキー産地である。
- ・食品関連製造業は他の製造業と比べて生産性が低い。
- ・本格焼酎の一人当たりの付加価値額は、他産地より低い。
- ・人口減少や嗜好の多様化等により、本格焼酎の国内需要は縮小している。
- ・本格焼酎の輸出は増加傾向にあるものの規模は小さく、ウイスキー等酒類の輸出も伸び悩んでいる。

（2）目指すべき目標（R12）

付加価値増加額（KGI）：60億円
（R6年300億円⇒R12年360億円）

4. 勝ち筋

（1）基本戦略

生産工程の自動化・省力化等による生産性向上、国内外でのプロモーションによる需要拡大、多様な消費者ニーズに対応した商品開発による高付加価値化に取り組み、製造品出荷額等の増加及び付加価値率の向上を通じて、付加価値額の増加を図る。

（2）取組の具体像

- ① 生産性向上
 - ・自動化・省力化、AI・IoTの活用による生産効率の向上
- ② 高付加価値化
 - ・市場ニーズに対応した高付加価値酒の商品開発・販路開拓
 - ・高付加価値化に取り組むトップランナーの創出
 - ・テロワールや多様な飲み方を体験できる機会を創出し、ブランド化を図り、継続的な消費拡大へつなげる。
- ③ 需要拡大
 - ・国内外での認知度向上・販路拡大による消費拡大
 - ・インバウンド需要の取り込みと帰国後の継続消費の創出
 - ・ウイスキー等酒類の販売促進・事業者間連携の強化

5. 政策手段

（1）生産性向上に対する取り組み

生産工程の自動化・省力化に必要な機械装置の導入や、AI・IoT等のデジタル技術の導入を支援する。

（2）高付加価値化に対する取り組み

- ・県内酒造メーカー等が行う現地の嗜好やニーズに応じた高付加価値酒の商品開発等を支援する。
- ・インバウンド客をターゲットに首都圏のバー等においてテロワールや多様な飲み方を体験できるフェア等を開催する。
- ・海外の酒類教育機関等と連携し、産地視察や焼酎セミナーの開催などの現地プロモーション等を実施する。

（3）需要拡大に対する取り組み

- ・若者、女性をターゲットに大手居酒屋チェーン店等において鹿児島焼酎を提供するフェアを実施する。
- ・インバウンド客をターゲットに首都圏のバー等においてテロワールや多様な飲み方を体験できるフェア等を開催する。（再掲）
- ・海外の酒類事業者等を対象とした産地視察や焼酎アカデミー、現地プロモーション等を実施する。（再掲）
- ・ウイスキー等酒類については、事業者間の連携強化や、輸出商社と県内事業者が連携して行う営業活動の支援や商談機会創出等に取り組む。